

第1学年「各教科の課題」と「具体的な授業改善策」

各教科の課題		具体的な授業改善策	チェック
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○話す・聞く力の向上 ○書く力の向上 ○読む力の向上 ○文字・表記に関する力の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分が伝えたいことをはっきりさせて話す力を付けるために、日直の「スピーチ」などを活用して、話す活動を日常化する。 ○話すときの姿勢や口形、声の大きさ、話す速さに気を付けるように働きかける。 ○相手の話を聞くとときには話し手の方を見て、手遊びなどをしないで聞くように、繰り返し、指導する。 ○一人一人の気持ちや経験を大切に、楽しんで書くことを重視する。その日の出来事や知らせたいことを日記や作文に書くことを継続的にやっていく。 ○音読を通して内容の理解を深め、言葉への関心を高めさせる。 ○週に1回以上、本の読み聞かせの機会を作り、読書の楽しさを伝え、読書に親しませる。 ○挿絵を順番に並べたり、吹き出しに気持ちや様子を書き入れたり、劇化を取り入れたりして、書いてある内容を正しく読み取らせる。 ○登場人物の心情に共感しながら物語を読んだり、自分なりに考えたりする力を付けさせる。 ○ひらがな・片仮名・漢字の読み書きと使い方が確実にできるように繰り返し取り組ませる。 ○宿題など、家庭と連携しながら習熟を図る。 ○児童の生活に即した教材の提示を心がけ、文字や言葉に対する興味を高め、実際に使うことによって確実に定着させることができるようにする。 ○筆記用具を正しく使って文字を書けるよう繰り返し指導する。また、正しい筆順で書いたり、丁寧に書いたりすることを大切にする。 ○丁寧にノートをとる習慣を付けさせる。 ○促音や拗音、長音の読み書きが確実に身に付くよう、視覚化や動作化を取り入れた指導を行う。 	
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○数の概念の定着 ○たし算・ひき算の計算技能の定着 ○文章題の内容理解及び自ら解決する力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○具体物操作に重点を置くとともに、算数的活動を充実させ、数の量感をつかませる。 ○具体物の操作を十分に行ってから抽象物へ移行し、たし算・ひき算の基礎基本を定着させる。 ○速く正確に計算できるように繰り返し練習に取り組ませる。 ○文章題の内容を理解し、正しく立式したり、式から問題を作ったりする時間を確保して理解の一層の定着を図る。 ○板書を参考にさせながら、図や式、言葉を使い、視覚的に分かりやすくノートに記入させる。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ○「生活」への関心・意欲・態度の育成 ○活動や体験について思考し、表現する力の育成 ○生活上必要な習慣や技能の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○上級生や身近なお年寄り、幼稚園児・保育園児との交流を積極的に取り入れる。 ○「お手伝い」をテーマにした授業を計画的に行い、家庭の協力も得て、家族の中での自分の役割を自覚させていく。 ○アサガオの観察、学校の周りなどの四季の変化を生かした活動を取り入れる。また、動物とのふれあいやアサガオの栽培を通して、命の大切さへの気付きにつなげる。 ○活動の視点を明確に提示し、児童の思考を焦点化する。グループ編成を工夫し、気付いたことや発見したことを進んで発表できるような雰囲気作りを行う。 ○学校生活の全体を通じて、学校や学級のルールを守ったり、適切なあいさつや言葉遣いをしたりできるようにする。 ○学習を通して様々な体験ができるよう配慮した指導計画を立てる。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽への関心・意欲・態度の育成 ○音楽表現の技能の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習への意欲を高める。 <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで聴き合ったり、良いところをみつけたりしながら、友達と音楽の楽しさを共有できる活動を多く取り入れる。 ○練習方法を工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ・めあてに向けて練習できるようにやり方を提示する。 ・鍵盤ハーモニカでは、反復練習することで、基本の指づかいやタンギングを覚えさせる。 ・家庭でも、練習に取り組んでもらうよう働きかける。 	
図工	<ul style="list-style-type: none"> ○図工に対する、興味・関心の育成 ○表現方法の向上 ○観賞の能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○子供のつぶやきを大切にし、子供たちが楽しみながら活動できるよう、一人一人に声をかけながら、つくりだす喜びを味わえるようにする。 ○はさみやのりの使い方、紙を折る、ちぎるなど、指先を使って表現する題材を工夫する。 ○友だちの作品から、面白さや楽しさを見つけ、互いによさを認め合えるようにする。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○運動への関心・意欲・態度の育成 ○運動についての思考・判断 ○運動技能の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○個人の運動経験差を考慮し、無理のないように楽しく学習することができよう活動をとり入れる。 ○友達同士で協力し合い、励まし合ったり、競い合ったりする場面を取り入れる。 ○ルールを守り、安全に生活する態度を育成するために、掲示物等を工夫する。 ○運動する時間を十分に確保した指導の流れを工夫し、様々な動きを経験させる。 ○健康トレーナーや体育講師と連携し、コーディネーショントレーニング等を積極的に取り入れ、運動感覚を養わせる。 ○基本的な動きを確認しながら運動に取り組むことで、基本的な動きを身に付けさせていく。 	